

## 2006年 吉備国際大学社会福祉学部 専任教員業績リスト(五十音順)

このリストは、専任教員が2006年1月1日から2006年12月31日までに刊行したり、かかわったりした①著訳書、②学術論文、③報告書、④学会発表、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演である。紀要委員が、12月8日までに自己申請するように各専任教員に依頼し、返却された申請書に添って作成した。なお、自己申請に応じなかったか、あるいは上記期間内に該当する刊行物や活動がなかった専任教員に関しては、このリストから除外した。

自己申請の依頼に際して、教員間の書式を統一するために、①著訳書(単著、編著、編、共編著、共著、分担執筆、訳、監訳、共訳、分担訳などの類別、並びに、出版社、発行年月日を明記、共編・共著・共訳の場合は共編著訳書名を列記、分担執筆・分担訳の場合は編者名・監訳者名をそれぞれ記載)②学術論文(学術誌名、巻、ページ、単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが第一著者か、連名著者(第二著者以下)かを記載)、③報告書(単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが研究代表者なのか、連名著者(第二著者以下)かを記載)、④学会発表(国内外を問わず、機関誌を刊行する学会の主催する学会報告に限り、単名発表、連名発表の責任者(登壇者)、連名発表での連座の別を明記)、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演、それぞれの記載スタイル(ここには非掲載)を例示し、一応それにしたがって提出いただいた。

### 社会福祉学科

#### 黒宮亜希子(くろみや・あきこ)

##### ②学術論文

- (1)「阪神・淡路大震災被災者の生活復興過程にみる4つのパターン—2001年・2003年・2005年兵庫県生活復興パネル調査結果報告—」地域安全学会論文集, No.8, pp.405-414, 2006年11月(共著, 第一筆者)
- (2)「社会調査による生活再建過程モニタリング指標の開発—阪神・淡路大震災から10年間の復興のようす—」地域安全学会論文集, No.8, pp.415-424, 2006年11月(共著, 連名著者)

##### ③報告書

- (1)「兵庫県生活復興調査 調査結果報告書」兵庫県報告書, 2006年3月(共著, 連名著者)

##### ④学会発表

- (1)「パネルデータからみる阪神・淡路大震災被災者の復興—2001年・2003年・2005年兵庫県生活復興パネル調査結果をもとに—」関西社会学会第57回大会, 2006年5月28日, 於: 金沢大学(連名発表, 責任者)
- (2)「社会調査による生活再建過程モニタリング指標の開発—阪神・淡路大震災から10年間の復興のようす—」地域安全学会第19回研究発表会, 2006年11月24日, 於: 東京大学(連名発表, 連座)
- (3)「阪神・淡路大震災被災者の生活復興過程にみる4つのパターン—2001年・2003年・2005年兵庫県生活復興パネル調査結果報告—」地域安全学会第19回研究発表会, 2006年11月24日, 於: 東京大学(連名発表, 責任者)

##### ⑩講演

- (1)「市民・行政, 協働のまちづくり」このままじゃいけんネットワーク第64回会合(市民活動ワークショップファシリテーター), 2006年6月20日, 於: 高梁市役所
- (2)「ワークショップ手法で高梁のまちづくりを考える」このままじゃいけんネットワーク第65回会合(市民活動ワークショップファシリテーター), 2006年8月1日, 於: 吉備国際大学

#### 平井 順(ひらい・じゅん)

##### ①著訳書

- (1)『第12章 グローバル化社会における公共性』(分担執筆), 青木康容編著『地方自治の社会学——市民主体の「公共性」構築をめざして』昭和堂, pp.172-186, 2006年3月31日
- (2)「第5章 行政統制の枠組みを越えた行政責任——地方自治体行政職員の事例分析から考える」(分担執筆), 青木康容編著『変動期社会の地方自治——現状と変化, そして展望』ナカニシヤ出版, pp.75-91, 2006年3月31日

**保積 功一** (ほづみ・こういち)

## ②学術論文

- (1)『精神保健福祉士実習教育のあり方を巡ってー現場と大学教育の連携を目指してー』吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要, 第7号, pp. 1-12, 2006年3月31日 (単著)

## ⑩講演

- (1)『発達障害児との関わり方ー特別支援教育コーディネーター養成ー』大崎上島町教職員・関係機関の職員研修会 (大崎上島町教育委員会主催), 2006年2月6日, 於: 上島大崎町教育委員会庁舎ホール
- (2)『軽度発達障害の理解と親への支援』(岡山県高梁保健所主催) 発達障害児等地域支援研修会, 2006年8月4日, 於: 同庁舎北東会議室
- (3)『子どもの観察と事例研究』(岡山県高梁保健所主催) 高梁っ子サポート, 事業出前研修会, 2006年8月25日, 於: 高梁市立津川幼稚園
- (4)『子どもの観察と事例研究』(岡山県高梁保健所主催) 高梁っ子サポート, 事業出前研修会, 2006年9月7日, 於: 高梁市立津川幼稚園
- (5)『日頃の子育てへのアドバイスー良い人間関係づくりができる子にー』(岡山県高梁保健所主催), 2006年11月17日, 於: 高梁市有漢保健センター

**芝 明義** (しば・あきよし)

## ⑩講演

- (1)「私が伝えたいことー心のバリアフリーをめざして」(コーディネーター) 高梁保健所 平成17年度心の健康づくり県民講座, 2006年3月14日, 於: まちかど広場 (高梁市)
- (2)「行政施策と精神障害者ホームヘルプサービスの意義と要点」香川県小豆総合事務所 平成18年度精神障害者ホームヘルパー講習会, 2006年7月10日, 於: 香川県小豆総合事務所
- (3)「人間尊重の精神医療の在り方」四国カウンセリング実践研究会 第9回カウンセリング講座, 2006年9月10日, 於: 四国総合ビジネス専門学校 (香川県)
- (4)「当事者との関わりに大切な支援のあり方」岡山県精神保健福祉センター 平成18年度メンタルヘルスボランティア養成講座, 2006年9月20日, 於: 美作世代交流多目的ホール
- (5)「心により添う①」津山保健所 子育てピア支援者研修会, 2006年9月19日, 於: 津山保健センター
- (6)「心により添う②」津山保健所 子育てピア支援者研修会, 2006年10月11日, 於: 津山保健センター
- (7)「メンタルヘルスボランティアの活動」(まとめ講演) 岡山県精神保健福祉センター 心の健康づくり推進員養成講座修了者へのフォローアップ研修, 2006年12月6日, 於: ライフパーク倉敷

**横山奈緒枝** (よこやま・なおえ)

## ①著訳書

- (1)「第10章 民生活動とシルバーサービス」(分担執筆), 杉本敏夫編著『高齢者福祉論』ミネルヴァア書房, pp. 164-180, 2006年4月10日

## ②学術論文

- (1)「卒業生の評価からみた高齢者福祉領域・社会福祉援助技術現場実習内容の検討ーソーシャルワークとケア・ワークに従事する卒業生の評価の相違からー」最新社会福祉学研究創刊号, pp. 5-15, 2006年3月22日 (共著, 連名著者)
- (2)「ソーシャルワーカーに必要なソーシャルスキルー研究の展望ー」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 第11号, pp. 55-65, 2006年3月31日 (共著, 第一著者)
- (3)「高齢者とのおつきあいスキルー3つの関わり方にみる高齢者へのソーシャルスキルに関する探索的検討ー」日本保健医療行動科学年報2006, Vol. 21, pp. 197-217, 2006年6月6日 (共著, 第一著者)

## ④学会発表

- (1)「Social skills for enhancing interpersonal relationships with the elderly」アジア社会心理学会, 2005年4月4日, 於: ウェリントン (ニュージーランド) (連名発表, 連座)
- (2)「他職種との合同相談会にみる社会福祉士の役割」第14回日本社会福祉士会 全国大会・社会福祉学会, 2006年6月3日, 於: 大宮ソニックシティ, シーノ大宮 (さいたま市) (連名発表, 連座)

## ⑩講演

- (1)「地域づくりとは」平成18年度総社市中央部地区小地域ケア会議合同連絡会，2006年11月6日，於：清音福祉センター（総社市）
- (2)「高齢者虐待防止への挑戦」（基調問題提起・コーディネーター）岡山県ハートフルフェスタ 高齢者虐待防止シンポジウム，2006年12月2日，於：岡山市総合福祉会館（岡山市）
- (3)「地域包括支援センターにおける権利擁護について」平成18年度第2回総社市地域ケア会議，2006年12月20日，於：総社市総合福祉センター（総社市）

## 健康スポーツ福祉学科

## 天岡 寛（あまおか・ひろし）

## ②学術論文

- (1)「身体障害者の筋力トレーニング効果」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要，7，29-33，2005年3月（共著，連名著者）
- (2)「下腿浴が心拍数，血圧，直腸温及び心臓自律神経系活動に及ぼす影響」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，11，67-72，2006年3月31日（共著，第1著者）

## ④学会発表

- (1)「身体障がい者に対するレジスタンストレーニングプログラムの実践」日本体力医学会 第61回大会，平成18年9月24日（日），25日（月），26日（火），於：神戸国際会議場（連名発表の責任者）
- (2)「Effects of the resistance training using the tube for persons with disabilities」The 9th International Symposium of the Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise 2006，平成18年8月1日（火），2日（水），3日（木），於：活水女子大学（連名発表の責任者）

## 周 英男（しゅう・えいなん）

## ①著訳名

- (1)【東洋医学養生保健学】ふくろう出版（共著，連名著者），2006年3月

## ②学術論文

- (1)「社会福祉における経絡健康診断の応用」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，8，41-47，2003年3月（共著，第一著者）
- (2)「リラックス状態におけるα波の波状振動」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10，39-43，2005年3月（共著，連名著者）
- (3)「Anti-shock effects of acupuncture and its mechanism」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10，45-53，2005年3月（共著，第一著者）
- (4)「A study to treat Cervix chinquapin syndrome with acupuncture」Collection of 24th International Academic Exchanges on Sports Medicine of China High-learning Institutions，173-175，2005年7月（共著，連名著者）
- (5)「Study of Laser-therapy to Treat Asthma」Collection of 24th International Academic Exchanges on Sports Medicine of China High-learning Institutions，175-177，2005年7月（単著）

## ⑧公開講座

- (1)「伝統的な健康法」吉備国際大学2004年長寿学園講座，2004年9月17日，於：吉備国際大学
- (2)「Self health care massage」2005年3月1日 Shenandoah University of USA

## ⑩講演

- (1)「腰痛症の予防と予防体操」保健福祉系列講座1，2003年3月11日，於：高梁市巨瀬町公民館
- (2)「肩凝りと膝関節炎の予防体操」保健福祉系列講座2，2004年3月5日，於：高梁福祉会館
- (3)「膝関節炎の予防体操」2003年9月20日，於：高梁福祉会館
- (4)「ツボ健康法と腰痛症予防体操」2004年3月17日，於：高梁福祉会館
- (5)「伝統的な健康法」保健福祉系列講座3，2004年6月24日，於：高梁市有漢町公民館

**孫 其然** (そん・きぜん)

## ① 訳書

- (1) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(1), 174-183, 2006年1月 (共訳・補注)
- (2) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(4), 711-715, 2006年4月 (共訳・補注)
- (3) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(5), 893-897, 2006年5月 (共訳・補注)
- (4) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(6), 1070-1073, 2006年6月 (共訳・補注)
- (5) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(8), 1405-1409, 2006年8月 (共訳・補注)
- (6) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(10), 1761-1766, 2006年10月 (共訳・補注)
- (7) 意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 53(11), 1990-1993, 2006年11月 (共訳・補注)

## ② 学術論文

- (1) 『黄帝内経』を中心として見た800年前の冤罪「四(回)逆湯・その四」, 季刊内経, 第162号, 3-21, 2007年3月 (単著)

## ④ 学会発表

- (1) 「A Review of Ancient Classic Traditional Chinese Medical Theory System」The Third International Congress of Traditional Medicine. Collected Papers. 246-248, 2006年9月20-22日, 於: The Canadian Society of Chinese Medicine and Acupuncture.
- (2) 「漢方の基本原則“随証治之”の研究(その八)」日本東洋医学雑誌. 57(別冊号), 191, 2006年6月24日 (単著), 於: 大阪国際会議場
- (3) 「正常眼圧緑内障の2症例—約10年の経過」57(別冊号), 188, 2006年6月24日 (共著, 連名発表の責任者)

## ⑩ 講演

- 「四逆湯の正体」東海漢方協議会, 2006年9月10日, 於: 名城大学薬学部

**中山 哲哉** (なかやま・てつや)

## ② 学術論文

- (1) 「福祉系大学生における障害者観の変容—学年差の横断的検討—」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 第11号, 93-102, 2006年3月31日 (共著, 第一著者)

## ④ 学会発表

- (1) 「児童相談にみる子ども虐待の現状—過去6年間の分析—」第12回岡山県保健福祉学会, 2006年2月10日, 於: 岡山国際交流センター (連名発表, 連座)
- (2) 「椅子立ち上がり動作の床反力測定にみる介護技術の効果の検討」第12回岡山保健福祉学会, 2006年2月10日, 於: 岡山国際交流センター (連名発表—連座)

## ⑧ 公開講座

- (1) 「社会福祉士受験対策講座・心理学」岡山ふれあいセンター, 2006年12月2日, 於: 岡山ふれあいセンター

**向井 通郎** (むかい・みちお)

## ① 著訳名

- (1) 「改訂版 解説 社会福祉六法・関係法事典, 関西人間学会編」, 117-121, 127-137, 140-146, 152-157, 晃洋書房, 2006年9月10日
- (2) 「総合福祉の基本体系」井村圭壯・相沢譲治編著, 分担執筆第13章, 141-149, 年金保障, 勁草書房, 2006年1月20日
- (3) 「新版『老人福祉論』第3版」牧洋子・和田健一郎編著(第1章5 高齢者の居住環境とバリアフリー)を分担執筆, 33-44, 建帛社, 2006年4月1日

## ② 学術論文

- (1) 介護の有無が椅子立ち上がり時の床反力に及ぼす影響, 吉備国際大学社会福祉学部紀要, 第11号, 123-128, 2006年3月31日 (共著, 第1著者)
- (2) 福祉系大学生における障害者観の変容—学年差の横断研究, 吉備国際大学社会福祉学部紀要, 第11号, 135-144, 2006年3月31日 (共著, 連名著者)
- (3) 身体障害者の筋力トレーニング効果, 吉備国際大学保健福祉研究所紀要, 第7号, 29-33, 2006年3月31日

(共著, 連名著者)

④学会発表

- (1)「転倒予防のための安全な介助方法に関する研究」第58回日本体力医学会中国・四国地方会, 2006年10月25日26日, 於: 愛媛県生活文化センター (連名発表の連座)
- (2)「気圧計搭載加速度身体活動量計の福祉現場への応用に関する研究」岡山体育学会秋季研究発表会, 2006年10月7日, 於: 倉敷芸術科学大学 (連名発表の連座)
- (3)「Effects of the resistance training using the tube for persons with disabilities」The 9th International Symposium of the Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise, 2006年8月1日～3日, 於: 活水女子大学 (連名発表の連座)
- (4)「椅子立ち上がり動作の床反力測定にみる介護技術の効果の検討」第12回岡山保健福祉学会, 2006年2月10日, 於: 岡山国際交流センター (連名発表-責任者)
- (5)「児童相談にみる虐待の現状—過去6年間の分析—」第12回岡山保健福祉学会, 2006年2月10日、於: 岡山国際交流センター (連名発表, 連座)

山口 英峰 (やまぐち・ひでたか)

②学術論文

- (1)「介護の有無が椅子立ち上がり時の床反力に及ぼす影響」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 11, 109-114, 2006年3月31日 (共著, 連名著者)
- (2)「身体障害者の筋力トレーニング効果」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要, 7, 29-33, 2006年3月31日 (共著, 連名著者)

④学会発表

- (1)「転倒予防のための安全な介助方法に関する研究」第58回日本体力医学会中国・四国地方会, 2006年10月25日・26日, 於: 愛媛県生活文化センター (連名発表-責任者)
- (2)「気圧計搭載加速度身体活動量計の福祉現場への応用に関する研究」岡山体育学会秋季研究発表会, 2006年10月7日, 於: 倉敷芸術科学大学 (連名発表-責任者)

臨床心理学科

吾郷 晋浩 (あごう・ゆきひろ)

①著書 (分担)

- (1)「心理的因子を探る」女性心身医学 (玉田太朗, 本庄英雄編) 永井書店, 2006年7月, pp.124-127.
- (2)「The late Professor Emeritus Yujiro Ikemi and psychosomatic medicine」International Congress Series 1287 Elsevier B.V., 2006, pp.56-59.

⑨放送

- (1)「ストレスとアレルギー」アレルギー談話室, 2006年5月14日, KBC

⑩講演

- (1)「初診時における心身医学的疾患モデルに基づく病歴聴取の必要性と重要性」岡山心身医療研究会, 2006年7月22日, 於: ピュアリテイまきび
- (2)「アレルギー疾患患者に対する心身医学的看護の進め方」西日本アレルギー看護研究会, 2006年8月19日, 於: 福岡病院研修・情報センター

伊東 真里 (いとう・まり)

②学術論文

- (1)「バウムテストの臨床的診断に関する研究」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 11, 207-216, 2006年3月1日 (単著)
- (2)「回避的不適応行動 (症状) の臨床的研究 —機能分析と介入法を考える—」吉備国際大学社会福祉学部研究

紀要, 11, 163-168, 2006年3月1日 (共著, 連名著者)

④学会発表

- (1)「認知症高齢者の認知機能評価及び認知リハビリテーションに関する研究」日本心理学会第70回大会発表論文集, 2006年11月6日, 於:福岡国際会議場 (連名発表, 連座)

⑩講演

- (1)「チック症状に対する心理学的対応」医療心身懇話会講演, 2006年8月6日, 於:神戸中央病院  
 (2)「いじめの心理とその対応」詳徳中学校講演, 2006年10月8日, 於:亀岡市立詳徳中学校  
 (3)「老人介護とその家族のケア」老人保健施設こもれび研修会, 2006年8月20日, 於:老人保健施設こもれび

**大野 裕史** (おおの・ひろし)

②学術論文

- (1)「パプロフ派・スキナー派・バンデューラ派遊戯療法:一行動論者による津川(2000)の読解」, プリーフサイコセラピー研究, 15(1), 1-18, 2006年10月31日 (単著)

④学会発表

- (1)「単発型コンサルテーションにおける一事例」(シンポジウム 行動療法実践における「言葉づかい」Part 2:援助対象とコンサルティへの動機づけの工夫 話題提供), 日本行動療法学会第32回大会発表論文集, 76, 2006年10月25日, 於:品川区立総合区民会館 (単名)

⑩講演

- (1)「検査でわかること・わからないこと-その利用法-」キラキラ (障がい児をもつ親の会), 平成18年6月3日, 於:総社市総合福祉センター  
 (2)「行動分析による行動の理解(1)」キラキラ (障がい児をもつ親の会), 平成18年6月12日, 於:総社市総合福祉センター  
 (3)「行動分析による行動の理解(2)」キラキラ (障がい児をもつ親の会), 平成18年6月26日, 於:総社市総合福祉センター  
 (4)「軽度発達障害のある生徒の理解と支援 ADHD, LD, アスペルガー, 高機能自閉症について」平成18年度新見市教育研究会「教育相談(教育支援)」分科会, 2006年8月4日, 於:まなび広場にのみ  
 (5)「問題解決の方略:社会的問題解決(1)」キラキラ (障がい児をもつ親の会), 平成18年11月16日, 於:総社市総合福祉センター  
 (6)「問題解決の方略:社会的問題解決(2)」キラキラ (障がい児をもつ親の会), 平成18年11月30日, 於:総社市総合福祉センター

**久保 義郎** (くぼ・よしお)

①著書

- (1)「高次脳機能障害に対する行動分析的アプローチ」リハビリテーションのための行動分析学入門 医歯薬出版, p.75-88, 2006年7月1日 (共著, 連名発表の責任者)

④学会発表

- (1)「発達障害のある子どもの親支援について-支援プログラムが親の障害受容に及ぼす効果-」日本行動療法学会第32回大会発表論文集, 148, 2006年10月24日, 於:東邦大学 (連名発表-連座)  
 (2)「脳外傷者に実施した神経心理学的検査の統計的検討(7)-BADS (遂行機能障害群の行動評価)による脳外傷者と大学生の比較-」, 日本心理学会第70回大会発表論文集, p.303, 2006年11月3日, 於:九州大学 (連名発表-連座)  
 (3)「神経心理学的検査と日常生活の自立度との関連を調べる(2)~FIM, BADSを用いた統計的検討~」日本高次脳機能障害学会総会プログラム・講演抄録, 143, 2006年11月17日, 於:アクロス福岡 (連名発表-連座)

**小西 賢三** (こにし・けんぞう)

②学術論文

- (1)「視線移動に伴う関係性逸脱と事象関連脳電位」平成15年度-17年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究代表者:小西賢三)研究成果報告書 1-7, 2006年3月 (共著)

- (2)「視線移動と表情変化における脳電位変化」平成15年度－17年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2)研究代表者：小西賢三）研究成果報告書 8－15，2006年3月（共著）
- (3)「事象関連脳電位を用いた重症心身障害児・者の認知特性の検討」平成15年度－17年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2)研究代表者：小西賢三）研究成果報告書 16－45，2006年3月（共著）

④学会発表

- (1)「事象関連脳電位を用いた重症心身障害者の認知過程の検討」日本心理学会第70回大会，2006年11月3日，於：福岡（連名）
- (2)「視線方向の検出と後続事象の関連について－事象関連電位を用いた，自閉症者への応用可能性－」日本心理学会第70回大会，2006年11月5日，於：福岡（連名）

**小林 俊雄**（こばやし・としお）

②学術論文

- (1)「長谷川痴呆スケールにおける交通事故リハビリテーション患者の男女差」，吉備国際大学社会福祉学部紀要，11，151－161，2006年3月31日（単著）
- (2)「回避的不適応行動（症状）の臨床的研究－機能分析と介入法を考える」，吉備国際大学社会福祉学部紀要，11，163－168，2006年3月31日，連名著者（第2著者以下）

④学会発表

- (1)「連想テストにおける老人の自己イメージの男女差」，第54回岡山心理学会大会，2006年12月9日，於：岡山，旭川荘療育センター児童院（単名発表）

⑩講演

- (1)「患者と患者家族との関わり」主催：平成18年度清恵会看護専門学校看護師会，於：リーガロイヤルホテル堺，平成18年7月9日（単独講演）
- (2)「個別事例への対応」平成18年度学校ふれあい促進事業（岡山県），高梁市特別支援連携協議会委員教育推進事業，於：岡山県高梁市玉川小学校，平成18年11月27日（単独講演）

**佐田久 真貴**（さだひさ・まき）

⑩講演

- (1)「公的機関における心理士の役割」広島国際大学総合人間科学研究科内研修会，2006年9月7日，於：国際教育センター
- (2)「事例に関する理解の深化と今後の対応方針」高梁市立落合小学校校内研修会，2006年10月19日，於：高梁市立落合小学校
- (3)「事例に関する理解の深化と今後の対応方針」高梁市立落合小学校校内研修会，2006年11月30日，於：高梁市立落合小学校

**園田 順一**（そのだ・じゅんいち）

①著書

- (1)「カウンセリング実践への道」角川学芸出版，2006年12月25日（共著，高山巖）

②学術論文

- (1)「回避的不適応行動（症状）の臨床的研究－機能分析と介入法を考える－」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，第11号，163－168，2006年3月31日（共著 第一著者）

⑩講演

- (1)「いじめの理解と対応」岡山県教育委員会・いじめ問題研修講座，2006年11月15日，於：岡山県教育センター

**津川 秀夫**（つがわ・ひでお）

①著書

- (1)中学校におけるコンサルテーション：身体に抱きつく自閉症生徒への対応．宮田敬一編著 軽度発達障害へのブリーフセラピー：効果的な特別支援教育の構築のために．金剛出版，174－185，2006年7月31日（単著）

## ②学術論文

- (1)心理臨床における基礎研究のすすめ：宮大工の知恵に学ぶ。ブリーフサイコセラピー研究, 14, 51-57, 2006年3月31日 (単著, 特集論文)
- (2)クライアントは何を望んでいるか：大原論文へのコメント。神戸松蔭こころのケア・センター臨床心理学研究, 創刊号, 29-33, 2006年3月31日 (単著, コメント論文)

## ④学会発表

- (1)ブリーフセラピーが心理臨床家の養成に貢献できることは何か？日本心理臨床学会第25回大会発表論文集, 513, 2006年9月16日, 於：関西大学 (自主シンポジウム, 話題提供)
- (2)再登校要因に関する研究。日本心理学会第70回大会発表論文集, 380, 2006年11月3日, 於：福岡国際会議場 (連名, 筆頭発表者)
- (3)非言語的強調が記憶に及ぼす影響：散りばめ技法の実験的検討。日本心理学会第70回大会発表論文集, 948, 2006年11月4日, 於：福岡国際会議場 (連名)
- (4)姿勢の違いが語りに及ぼす影響。日本心理学会第70回大会発表論文集, 1088, 2006年11月4日, 於：福岡国際会議場 (連名)
- (5)タテ系動作課題における体験の検討。日本心理学会第70回大会発表論文集, 423, 2006年11月4日, 於：福岡国際会議場 (連名)

## ⑤書評論文

- (1)『ミルトン・H・エリクソン全集 (第2巻)：感覚, 知覚および心理生理学的過程の催眠性変容』書評。精神療法, 32, 1, 117-118, 金剛出版 (書評論文)

## ⑩講演

- (1)「平成17年度不登校支援研修会」倉敷市教育委員会, 2006年1月16日～2月20日 (計2回), 於：倉敷市庁舎
- (2)「学校カウンセリング研修講座：カウンセリングの基本姿勢」倉敷市教育委員会, 2006年5月19日, 於：ライブパーク倉敷
- (3)「学校カウンセリング研修講座：カウンセリングの進め方」倉敷市教育委員会, 2006年6月30日, 於：ライブパーク倉敷
- (4)「学校カウンセリング研修講座：事例研究」倉敷市教育委員会, 2006年7月13日, 於：ライブパーク倉敷
- (5)「初任者研修講座：カウンセリングの基礎」倉敷市教育委員会, 2006年7月26日, 於：ライブパーク倉敷
- (6)「エリクソニアン・アプローチ：トランスワークの基礎と実践」システムズアプローチ研究会, 2006年7月29日～30日, 於：広島県健康福祉センター
- (7)「学校で役立つブリーフセラピー」岡山県学校教育相談研修会, 2006年8月17日, 於：川鉄広江クラブ
- (8)「エリクソニアン・アプローチ」日本ブリーフサイコセラピー学会第16回横浜大会ワークショップ, 2006年8月25日, 於：横浜市立大学。
- (9)「不登校・引きこもりの理解と対応」岡山県教育センター (学校教育相談研修講座, 第3回地域教育相談員研修会, 第3回スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業 (SSN) 相談員・指導員等研修会), 2006年9月29日, 於：岡山県教育センター
- (10)「学校カウンセリング研修講座：ピア・コンサルテーションの実際」倉敷市教育委員会, 2006年10月20日, 於：ライブパーク倉敷
- (11)「不登校の予防と初期対応」倉敷市立南中学校校内研修会, 2006年11月20日, 於：倉敷市立南中学校
- (12)「困難を感じる生徒について」倉敷市立南中学校校内研修会, 2006年12月11日, 於：倉敷市立南中学校

## 成瀬 悟策 (なるせ・ごさく)

## ①著訳書

- (1)「動作のこころ」(単著) 誠信書房, 2006年12月31日

## ②学術論文

- (1)“Past and Present of Clinical Psychology in Japan. In Association of Japanese” Clinical Psychology 2006. 25th. Anniversary Commemorative Booklet. 2006. 09.

## ④学会活動

- (1)国際サイコセラピー会議講演：“臨床動作法”, 2006年8月30日, 於：京王プラザホテル



- (2)学会ワークショップ：“臨床心理行為”：日本心理臨床学会，2006年9月15日，於：関西大学
- (3)国際リハビリテーション心理学会議・基調講演：“臨床動作学”，2006年9月29日，於：韓国ソウル
- (4)学会ワークショップ：“身体心理学”，ディスカッサント 日本心理学会，2006年11月3日，於：福岡国際会議場
- (5)学会ワークショップ：“臨床動作法”・日本臨床動作学会，2006年11月18日，於：学習院大学

#### ⑥雑誌

- (1)“心理臨床と学会への想い” 心理臨床学研究，Vol.24，特別号5-28.
- (2)“私の脱精神分析の旅”. 精神療法，第32巻第6号，28-32.

#### ⑩講演

- (1)“臨床心理学の展開”：吉備国際大学臨床心理学研究所企画；2006年4月16日
- (2)東北臨床動作法研修会：臨床動作法ワークショップ，2006年7月29日
- (3)関西臨床動作法研修会：臨床動作法ワークショップ，2006年12月2日

### 日上 耕司（ひかみ・こうじ）

#### ②学術論文

- (1)「大学における障害のある学生への支援システムに関する実験研究—ノートテイクへの報酬の影響」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，11，169-188，2006年3月31日（共著，第一著者）

#### ④学会発表

- (1)「発達障害のある子どもの親支援について—支援プログラムが親の障害受容に及ぼす効果—」日本行動療法学会第32回大会，2006年10月24日，於：品川区立総合区民会館きゅりあん（連名）
- (2)「事象関連脳電位を用いた重症心身障害者の認知過程の検討—顔関連電位と重症度との関係づけの試み—」日本心理学会第70回大会，2006年11月3日，於：福岡国際会議場（連名）

#### ⑩講演

- (1)「軽度発達障害の理解と支援—中学校のスクールカウンセラーの立場から」備北地区特別支援教育コーディネーター・特別支援教育担当者等連絡協議会講演，2006年2月7日，於：岡山県健康の森学園養護学校会議研修室
- (2)「普通学級における軽度発達障害児への支援のあり方について」新見市立思誠小学校職員研修，2006年6月12日，於：新見市立思誠小学校
- (3)「発達障害児の理解と支援について—正しい理解から支援‘研究’へ」健康の森学園養護学校夏期公開講座，2006年7月24日，於：健康の森学園養護学校
- (4)「応用行動分析を特別支援教育に生かす」倉敷市特別支援教育研究協議会研修会，2006年8月10日，於：ライフパーク倉敷
- (5)「発達に遅れのある子どもの保護者支援の在り方」岡山県教育センター特別支援教育研修講座・講義，2006年8月22日，於：岡山県教育センター
- (6)「発達障害児への具体的な支援について—応用行動分析（ABA）に基づく事例から」健康の森学園養護学校夏期公開講座，2006年8月24日，於：健康の森学園養護学校

### 古田 知久（ふるた・ともひさ）

#### ②学術論文

- (1)「栄養摂取と看護」順正高等看護専門学校紀要 第13巻第1号，pp. 1-12，2006年3月24日（共著，連名著者）
- (2)「慢性期脳血管障害後うつ状態とアパシー—通所デイケアにおける1年間のADL変化およびThe Dysexecutive Questionnaireによる評価」作業療法ジャーナル 第40巻第11号，pp.1206-1214，2006年10月

#### ④学会発表

- (1)「特異な画像所見，臨床経過を呈し，病理学的診断に苦慮した左前頭側頭葉 glioma の1例」第24回日本脳腫瘍病理学会，2006年6月30日，於那覇市（連名発表—連座）
- (2)「悪性グリオーマの浸潤パターンと血管新生に関する病理学的検討」第24回日本脳腫瘍病理学会，2006年6月29日，於那覇市（連名発表—連座）

- (3)「Oligodendroglioma をベースに悪性化したと考えられた glioblastoma の 1 例」第24回日本脳腫瘍病理学会，2006年 6 月30日，於那覇市（連名発表－連座）
- (4)「特異な病理学的経過をとった左前頭葉 glioma の 1 例」第20回中国四国脳腫瘍研究会，2006年 9 月 9 日，於高松市（連名発表－連座）
- (5)日本外科病理研修会「脳腫瘍－非グリオーマ腫瘍－」「髄膜腫瘍」第11回 日本外科病理学会学術総会，2006年10月 1 日，於大阪狭山市（単独発表）
- (6)認知症高齢者の認知機能評価及びリハビリテーションに関する研究－注意機能に着目して－日本心理学会第70回大会，2006年11月 3 日～ 5 日，於福岡市（連名発表－連座）

#### ⑩講演

「脳卒中のはなし」岡山県生涯学習大学，2006年 8 月29日，於吉備国際大学

### 松永 美希（まつなが・みき）

#### ①著訳書

- (1)うつ病の認知と脳科学『貝谷久宣（編）認知療法2006 第 5 回日本認知療法学会から』星和書店，2006年 6 月（共著）
- (2)第 3 章 幼児における愛着と気質と副腎皮質機能，第10章 シャイネスとシャイネス症候群の経過『貝谷久宣＋抑うつ臨床研究会（監訳） 社会不安障害とシャイネス－発達心理学と神経科学的アプローチ』日本評論社，2006年 9 月（分担訳）

#### ②学術論文

- (1)「腹痛への懸念を強く訴えた社会不安障害患者に対する認知行動療法」行動療法研究，32(2)，157－166，2006年 9 月30日（共著，第一著者）
- (2)「うつ病の集団認知行動療法」医学のあゆみ，219(13)，1114－1119，2006年12月30日（共著，第一著者）
- (3)「うつ病を対象とした集団認知行動療法プログラムの有用性」精神神経学雑誌，108(2)，166 - 171，2006年 2 月25日（共著，第三著者）

#### ③報告書

- (1)「うつ病の集団認知行動療法プログラムに関するコントロール研究」平成17年度科学研究費補助金実績報告書，2006年 4 月（単著）

#### ④学会発表

- (1)「うつ病に対する集団認知行動療法の予後－社会的機能の改善に注目して－」第32回日本行動療法学会，2006年10月25日，品川区立総合区民会館 きゅりあん（連名発表の責任者）
- (2)「うつ病に対する集団認知行動療法の治療反応に関する予備的検討」第 2 回日本うつ病学会，2006年 7 月27日，京王プラザホテル（連名発表の責任者）
- (3)「Cognitive change and social functioning in group cognitive behavior therapy for depression」1st Asian Cognitive Behavior Therapy Conference，2006年 5 月29日，The Chinese University of Hong Kong（連名発表の責任者）
- (4)「発達障害のある子どもの親支援について－支援プログラムが親の障害受容に及ぼす効果－」第32回日本行動療法学会，2006年10月24日，品川区立総合区民会館 きゅりあん（連名発表の連座）
- (5)「うつ病の集団認知行動療法が自己関連付け課題遂行時の脳機能に与える影響」第 6 回日本認知療法学会，2006年10月 8 日，東京大学駒場キャンパス（連名発表の連座）

#### ⑩講演

- (1)「うつ病の心理的，社会的特徴」広島県うつ病・自殺予防に向けた産業精神医学研修会，2006年11月18日，広島県医師会館

### 三宅 俊治（みやけ・しゅんじ）

#### ①著書

- (1)健康心理学の方法『小林芳郎（編）健康のための心理学』大阪：保育出版，pp.15－17，2006年 4 月 1 日（分担執筆）

- (2)学習と記憶 ーよりよい行動のための加工と修正ー『甲村和三(編) 心理学ー工科系学生が学ぶ人間行動論ー』東京：培風館，pp.47-85，2006年4月7日(分担執筆)

②学術論文

- (1)「日本・韓国・中国の若者における不安と自我成分の関係」吉備国際大学大学院社会学研究科論叢 7, 169-203, 2006年3月(共著・第一著者)
- (2)「回避的不適応行動(症状)の臨床的研究 ー機能分析と介入法を考えるー」吉備国際大学社会福祉学部紀要 11, 163-168, 2006年3月(共著・第五著者)

⑩講演

- (1)「リスク管理と交通事故の抑制 ー交通社会環境におけるリスクを考えるー」《岡山県警本部・岡山県安全運転学校》「平成18年度安全運転管理者講習」講演 2005年6月1日，於：倉敷市児島(児島公民館)
- (2) 同上，2006年6月2日，於：都窪郡早島町(岡山テルサホール)
- (3) 同上，2006年6月15日，於：倉敷市水島(ライフパーク倉敷)
- (4) 同上，2006年7月7日，於：倉敷市中央(倉敷芸文館)
- (5) 同上，2006年7月13日，於：美咲町(久米南町文化センター)
- (6) 同上，2006年7月20日，於：新見市(新見文化交流館)
- (7) 同上，2006年7月26日，於：笠岡市(笠岡市民会館)
- (8) 同上，2006年7月28日，於：岡山市西大寺(旭川荘研修センターよしい川)
- (9)「リスク心理学からのリスク管理 ー交通事故抑制に向けてー」(独立行政法人)《自動車事故対策機構》「平成18年度運行管理者指導者講習」講演 2006年8月23日，於：岡山市(トラック総合研修会館)
- (10) 同上，2006年8月24日，於：岡山市(トラック総合研修会館)
- (11) 同上，2006年9月14日，於：倉敷市(サンピア倉敷)

**森井 康幸** (もりい・やすゆき)

⑩公開講座

- (1)「教育心理学」平成18年度吉備国際大学免許法認定公開講座，2006年7月24日～27日，於：吉備国際大学

**渡辺 由己** (わたなべ・ゆうき)

①著訳書

- (1)「高齢者介護施設における多職種チームケア」，植村勝彦・高島克子・箕口雅博・原 裕規・久田 満編「よくわかるコミュニティ心理学」，ミネルヴァ書房，182-185，2006年10月(分担執筆)

③報告書

- (1)「相談技法の演習を担当して IIIグループ」，関連学園学生相談連絡協議会編「健管だより」第九号，25-27，2006年3月(分担執筆)

④学会発表

- (1)「認知症高齢者の認知機能評価，及び認知リハビリテーションに関する研究ー注意機能に着目してー」，日本心理学会第70回大会，2006年11月4日，於：福岡国際会議場(連名発表の連座)

⑧公開講座

- (1)平成18年度吉備国際大学第16回公開講座「子どもと高齢者の関わり合い」(5月13日～7月8日)主催：吉備国際大学，担当：「今，子どもとふれ合うこと，子どもの頃の自分を回想することー心理学的視点からー」，2006年5月27日，於：高梁市総合文化会館2階レクチャールーム。

⑩講演

- (1)「高齢者を支えるチームケア」倉敷中央高等学校看護科内講演会，2006年11月21日，於：倉敷中央高等学校。

**福祉ボランティア学科**

**岡崎 幸友** (おかざき・ゆきとも)

④学会発表

- (1)「ノーマリゼーション原理の歴史的展開－わが国への展開に向けて－」, 中国四国社会福祉史研究会, 2006年8月19日, 於: 岡山県立大学短期大学部 (単名発表)
- (2)「対人支援とコト的世界観」, 第54回日本社会福祉学会全国大会, 2006年10月8日, 於: 立教大学 (単名発表)

## ⑩講演

- (1)「障害者(児)福祉の制度とサービス I」, TEI, 2006年度ホームヘルパー2級養成講座, 2006年5月24日, 於: 順正短期大学
- (2)「障害者(児)福祉の制度とサービス II」, TEI, 2006年度ホームヘルパー2級養成講座, 2006年5月25日, 於: 順正短期大学
- (3)「患者の気分転換活動としてのレクリエーションのあり方」, 岡山県立落合高等学校看護科高大連携授業, 2006年7月24日, 於: 岡山県立落合高等学校
- (4)「社会福祉を学ぶとは」, 鳥根県出雲西高等学校関連校授業, 2006年9月20日, 於: 鳥根県出雲西高等学校
- (5)「交通バリアフリー教室」, 国土交通省中国運輸局岡山運輸支局主催, 2006年11月25日, 於: 井原駅 (講師)

**木林友里夏** (きばやし・ゆりか)

## ②学術論文

- (1)「学部ソーシャルワーク教育カリキュラムの分析と課題－中国・四国地方大学のカリキュラム分析を中心に－」最新社会福祉学研究, 創刊号, 71-72, 2006年3月22日 (単著)
- (2)「ソーシャルワーカーに必要な学部カリキュラム開発のための概念的モデルの提案」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 第11号, 27-36, 2006年3月31日 (共著, 第一著者)

**田中 和吉** (たなか・かずよし)

## ⑥雑誌

(パンフレット)

- (1)高梁学園ボランティアセンター通信 vol. 2 「栄町商店街における学生ボランティア活動」
- (2)地方シンクタンク協議会 地域研究交流 No.74 「地域で子育て」

## ⑧公開講座

- (1)岡山県生涯学習大学 (8月30日) 「転ばぬ先の杖～成年後見制度の活用～」
- (2)平成18年度公開講座 (6月24日) 「ふるさとの遊びを子どもたちに!～手づくり遊び教室から～」

**橋本由紀子** (はしもと・ゆきこ)

## ②学術論文

- (1)インドにおけるソーシャルワーク教育の特徴－大学認可協会の基準から 吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第11号, p.183-192, 単著, 平成18年3月
- (2)フォーカスグループを用いた研究の実践マニュアル 四国学院大学論集 121号, 199-211, 共訳, 平成18年12月
- (3)障害のある青年のための地域ケア 四国学院大学論集 121号, 213-234, 共訳, 平成18年12月

## ④学会発表

日本のボランティア事情と若者のエンパワーメント“Volunteer Movement and Youth Empowerment in Japan”  
第2回 ICOYE 国際会議, 平成18年6月5日, 香港城市大学でのゲストスピーカーとして発表

**松原浩一郎** (まつばら・こういちろう)

## ④学会発表

日本社会福祉学会第54回全国大会  
研究発表『真如苑による社会活動』2006/10/08

**米良 重徳** (めら・しげのり)

## ②学術論文

- (1)「岡山 YMCA 史」 YMCA 史学会会報 No.26 1-6 2006年12月10日

## ③報告書

- (1)「真庭市協働のまちづくり基本方針(案)」真庭市協働のまちづくり研究会, 真庭市杜市づくり推進課, 2006年10月

## ⑩講演

- (1)「NPOと行政との協働」岡山県備前県民局協働フォーラム, 2006年1月27日, 於:きらめきプラザ  
 (2)「ボランティアがまちをつくる」岡山県教育委員会社会教育主事等研修会, 2006年2月21日, 於:岡山県生涯学習センター  
 (3)「NPOの側からみたNPOと行政の協働」岡山県産業労働部職員研修会, 2006年2月22日, 於:三光荘  
 (4)「青空知事室」(コーディネーター)岡山県, 2006年2月24日, 於:ゆうあいセンター  
 (5)「真庭発・杜市づくりを考える」杜市づくりシンポジウムパネラー, 2006年2月25日, 於:勝山文化センター  
 (6)「行政とNPO等との協働」備中地域研修センター地域政策講座, 2006年3月7日, 於:備中県民局会議棟  
 (7)「今,なぜ協働のまちづくり」(コーディネーター)真庭市協働のまちづくりシンポジウム, 2006年3月19日, 於:勝山文化センター  
 (8)「協働と行政職員の働き方」岡山県美作県民局協働推進研修会, 2006年5月29日, 於:美作県民局真庭支局  
 (9)「協働と行政職員の働き方」岡山県美作県民局協働推進研修会, 2006年6月16日, 於:美作県民局勝英支局  
 (10)「協働と行政職員の働き方」岡山県美作県民局協働推進研修会, 2006年6月26日, 於:美作県民局本館  
 (11)「なぜ今,協働のまちづくり?」高梁市まちづくりリーダー養成講習会, 2006年6月30日, 於:高梁総合文化会館  
 (12)「ボランティア活動の魅力と国際貢献」岡山県国際交流協会国際貢献ボランティア養成講座, 2006年7月29日, 於:岡山国際交流センター  
 (13)「市民社会とNPOの働き」社会教育主事講習, 2006年8月8日, 於:岡山大学  
 (14)「なぜ今,協働のまちづくり?」真庭市協働のまちづくり職員研修会, 2006年12月8日, 於:真庭市蒜山振興局  
 (15)「ボランティア実践発表シンポジウム」(コーディネーター)高梁学園ボランティアセンター, 2006年12月9日, 於:高梁文化交流館  
 (16)「なぜ今,協働のまちづくり?」真庭市協働のまちづくり職員研修会, 2006年12月22日, 於:久世公民館  
 (17)「Peace For The Children 地域,そして戦場」RSKラジオ公開番組パネラー, 2006年12月26日, 於:倉敷市芸文館

## 子ども福祉学科

今村 俊介 (いまむら・しゅんすけ)

## ④学会発表

- (1)「デジタルノートテイクによる障害学生への情報保障の取り組み」平成18年度全国大学IT活用教育法研究発表会, 2006年7月1日, 於:東京都アルカディア市ヶ谷(連名発表, 連座)  
 (2)「デジタルノートテイクによる障害学生への情報保障の取り組み」平成18年度大学教育・情報戦略大会, 2006年9月6日, 於:東京都アルカディア市ヶ谷(連名発表, 連座)

上田 憲嗣 (うえた・けんじ)

## ①著書

- (1)「I. 6 コーディネーショントレーニングを体育授業へどう導入するか」(分担執筆), 根本正雄編『“スポーツ医学科学的トレーニング”を入れた新しい体育の授業づくり』明治図書, 2006年4月

## ②学術論文

- (1)「コーディネーショントレーニングを取り入れた体育授業の開発一体づくり運動への導入について」鳴門教育大学研究紀要第21巻生活健康編, pp.370-377, 2006年3月(共著, 第一著者)  
 (2)「ドイツ・ライプチヒ学派トレーニング科学の成立過程に関する基礎的研究(1)」鳴門教育大学研究紀要第21巻生活健康編, pp.355-369, 2006年3月(共著, 連名著者)

- (3) 「体育学習を支援するデジタル教材の開発と評価：「初等体育 I (表現運動)」における「おやつをつくろう」の授業実践」, 鳴門教育大学授業実践研究 vol.5, pp.25-30, 2006年4月 (共著, 連名著者)
- (4) 「小学校体育授業における表現運動「学習支援デジタル教材」の開発と評価：小学校6年間を見通した素材と構成の検討」, 鳴門教育大学実技教育研究 vo.16, pp.35-40, 2006年4月 (共著, 連名著者)
- (5) 「球技における中核的な運動要素“アトム”の学際的探求」, 鳴門教育大学実技教育研究 vo.16, pp.45-56, 2006年4月 (共著, 連名著者)

#### ④学会発表

- (1) 「小学校体育授業における表現運動「学習支援デジタル教材」の開発と評価—指導者の教職経験の相違によるソフト(自然の力)の使用効果について—」, 日本教科教育学会第32回全国大会(大阪大会), 平成18年12月3日, 於:大阪教育大学(連名発表の連座)

### 大熊 直子 (おおぐま・なおこ)

#### ⑩講演(演奏)

- (1) 「大熊直子ピアノリサイタル(第6回) —ショパン:ピアノソナタ第3番口短調 op.58他—」, 2006年6月25日, 於:岡山県立美術館ホール, (独奏)
- (2) 「ショパン:3つのマズルカ op.59」全国大学音楽教育学会 第22回全国大会《神戸大会》研究演奏発表, 2006年8月31日, 於:シーサイドホテル舞子ビラ神戸 あじさいホール, (独奏)

### 加藤 博仁 (かとう・ひろひと)

#### ①著訳書

- (1) 「第1章第3節 専門対人援助関係とコミュニケーション援助関係の実際」(分担執筆), 福祉士養成講座編集委員会編『新版介護福祉士養成講座⑤第3版 社会福祉援助技術』中央法規, pp.36-42, 2006年1月20日
- (2) 『「ノー」と言えずに—職場のカウンセラー—』(福山清蔵監修, 加藤博仁原作・原画), 日本産業カウンセラー協会, 2006年2月13日
- (3) 「第4章 家族援助の方法 section 1 家族援助技術の体系, section 2 家族援助の過程と方法」(分担執筆), 保育士養成講座編纂委員会編『改訂・保育士養成講座2006 第11巻 家族援助論』全国社会福祉協議会, pp.111-135, 2006年2月28日
- (4) 『いのちの電話相談員研修教材 電話相談員の危機と支援体制』(単著), 社会福祉法人いのちの電話, 2006年6月4日

#### ⑩講演

- (1) 「平成17年度ファミリーソーシャルワーカーのための研修会 ソーシャルワークの基本とファミリーソーシャルワークへの応用」全国社会福祉協議会・他, 2006年2月14日, 於:全国社会福祉協議会灘尾ホール
- (2) 「効果的な子育て支援の方法を求めて」津山保健所管内愛育委員連合会・栄養改善協議会, 2006年3月2日, 於:グリーンヒルズ津山リージョンセンター
- (3) 「2006年度ホームヘルパー2級養成講座 高齢者, 障害者(児)等の家族の理解」TEI, 2006年5月20日, 於:順正短期大学
- (4) 「対人コミュニケーション」立教大学, 2006年8月2日-4日, 於:立教大学池袋校舎
- (5) 「平成18年度専門里親養成研修(東京)演習(役割演技法)」母子愛育会, 2006年8月26日, 於:母子愛育会
- (6) 「平成18年度専門里親養成研修(京都)演習(役割演技法)」母子愛育会, 2006年9月9日, 於:同志社大学
- (7) 「電話相談員の危機とケア」岡山いのちの電話, 2006年10月21日, 於:岡山いのちの電話研修会場
- (8) 「電話相談員の危機とケア 演習付き」山形いのちの電話 厚生労働省自殺防止補助事業, 2006年11月18日

### 栗田 喜勝 (くりた・よしかつ)

#### ①著訳書

- (1) 「社会福祉原論(第4版)」(共著), 法律文化社, 2006年3月20日

#### ⑧公開講座

- (1) 「平成18年度保育士養成講座(養護原理)」岡山市ふれあい公社主催, 2006年7月8日, 於:岡山市ふれあいセンター

**田中 卓也** (たなか・たくや)

## ①著訳書

- (1)「第9章 保育者からのメッセージ」(分担執筆), 秋田喜代美監修『新保育双書 いまをいきる保育者論』株式会社みらい, 161-172, 2006年12月

## ②学術論文

- (1)「『幼年倶楽部』にみる読者層の形成」(単著) 中国四国教育学会教育学研究紀要第55巻 (CD-ROM版), 219-225, 2006年3月  
 (2)「日本の中高等教育課程と教育法に関する基礎的研究(第3報)」(分担執筆), 常磐大学人間科学部紀要第12巻, 48-60, 2006年12月

## ③報告書

- (1)「全国地方教育史学会第29回大会に参加して」(単著), 全国地方教育史学会会報「全地教通信」2006年7月20日, 2-3

## ④学会発表

- (1)「戦前期児童向け雑誌にみられる読者の様相-『幼年倶楽部』・『少女倶楽部』を中心に-」(単名発表) 関西教育学会第58回大会, 2006年11月5日, 於: 滋賀大学教育学部石山キャンパス  
 (2)「近代児童雑誌における読者の研究-『金の船』を中心に-」(単名発表) 中国四国教育学会第58回大会, 2006年11月25日, 於: 岡山大学教育学部  
 (3)「越原春子と女子教育-女性観の形成と教育の機会均等をめぐって-」(単名発表) 九州教育学会第58回大会, 2006年11月26日, 於: 長崎大学教育学部

## ⑦新聞

- (1)「学生との対話に学ぶ」(単著) 中国新聞, 2006年10月9日, 「広場」欄  
 (2)「今年も鍋の季節 心と体で満喫を」(単著) 読売新聞(関西版), 2006年10月25日, 「気流」欄  
 (3)「奏でる協調性 吹奏楽に学ぶ」(単著) 朝日新聞(大阪版), 2006年10月27日, 「声」欄  
 (4)「緊張解きほぐす方言」(単著) 中国新聞, 2006年11月14日, 「広場」欄  
 (5)「学ぶことが多い駅伝」(単著) 中国新聞, 2006年12月20日, 「広場」欄

## ⑩講演

- (1)「ミニ講義: 保育士・幼稚園教諭の仕事のをぞいてみよう!!」(単独講演) 吉備国際大学社会福祉学部子ども福祉学科オープンキャンパス, 2006年7月23日, 吉備国際大学7号館  
 (2)「子どもと接する」(単独講演) 株式会社さんぼう主催高等学校進学説明会, 2006年9月22日, 於: 岡山県立井原高等学校

**田中 禮子** (たなか・れいこ)

## ②学術論文

- (1)「子どもが求める子育て支援-小学校高学年生の心身の安定と生活環境対処過程に焦点をあてて-」 吉備国際大学社会福祉学部研究紀要第11号, 37-48, 2006年3月31日 (単著)

## ⑧公開講座

- (1)「子どもの安全について」 吉備国際大学第16回公開講座, 2006年6月17日, 於: 高梁総合文化会館

## ⑩講演

- (1)「地域で取り組む子育てを進めていくために-地域ボランティアに求められるもの-」 高梁地域愛育委員・栄養委員研修大会, 2006年7月3日, 高梁総合文化会館  
 (2)「社会福祉ってなんだろう」 高大連携事業, 2006年12月18日, 於: 岡山県立落合高校

**寺見 章** (てらみ・あきら)

## ⑩講演 (作品発表)

- (1)「素描展」-tableau-への思索の螺旋 13名の作家の素描作品展, 2006年9月20日~10月9日, 於: アートガーデン  
 (2)「奏でる石 -音楽からのイメージ-」 4人の石彫家による作品展, 2006年10月18日~10月30日, 於: アートガーデン

⑩講演（企画）

- (1) 展覧会企画 「第3回青美展 時実月夜展」, 2006年9月16日～24日, 於：遊美工房

**中野 明子**（なかの・あきこ）

⑧ 公開講座

- (1) 「絵本をとおして福祉を考える」吉備国際大学第18回公開講座, 2006年6月3日, 於：高梁市文化会館

**平見 勇雄**（ひらみ・いさお）

② 学術論文

- (1) 「英語所有構文に見られる英語全体に浸透している言語傾向との接点に関する考察」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要第11号, 129-141, 2006年3月31日（単著）